

知床五湖地区における取組の進捗状況について

トピック

1. 利用調整期間の運用について、今年度より秋期自由利用期（10/21～閉園）を植生保護期とし、植生保護期（開園～5/9、8/1～閉園）とヒグマ活動期（5/10～7/31）の2期で運用している。今年度はコロナの影響により、5/15まで知床五湖園地が臨時閉園したことから、春の植生保護期（開園～5/9）の立入認定者数は0人だった。
2. ヒグマ活動期（5/10～7/31）における立入認定者数は4,216名（前年比26%）と大幅に減少した。期間中のヒグマ目撃件数は45件（前年比24%）、ツアー中止件数は7件（前年比28%）と減少した。
3. 植生保護期8月の立入認定者数は17,103人（前年比90%）と減少したが、ヒグマ活動期と比べると大幅に回復した。昨年度はヒグマ活動期以降もヒグマの活動が継続した影響により、8月地上遊歩道の閉鎖日数（終日閉鎖含む）が19日間であったのに対し、今年度の閉鎖日数は6日間と比較的安定して地上遊歩道が供用された。

1. 知床五湖利用調整地区制度の運用

- ・今年度から、秋期自由利用期（10/21～11/8(閉園)）を植生保護期とし、植生保護期（開園（4/20）～5/9、8/1～11/8（閉園））とヒグマ活動期（5/10～7/31）の2期で運用中。ただし、今年度はコロナの影響により開園～5/15までは閉鎖。
- ・植生保護期（春）の地上歩道の立入認定者数はコロナの影響による臨時閉園で0人。
- ・ヒグマ活動期における地上遊歩道の立入認定実績は4,216名（前年比26%）と大幅に減少。そのうち全体の8割は、7月に集中した。
- ・期間ツアー中のヒグマ目撃件数は45件（前年比24%）、ツアー中止件数は7件（前年比28%）と減少した。
- ・期間中当日受付ツアーについて一時休止していたが、6/19より実施。
- ・8月1日より植生保護期（夏）を運用中。8月の立入認定者数は17,103人（前年比90%）で前年度に引き続き減少したが、ヒグマ活動期からは大幅に回復した。（図1, 2）
- ・8月の地上遊歩道内でのヒグマ目撃件数は5件（前年9件）でヒグマによる終日閉鎖はなかった。
- ・新型コロナウイルス対策として、レクチャー受講者人数を定員の半分（25名）に制限する等の対策を実施。夏の植生保護期は、登録引率者が催行するガイドツアーに限って、フィールドハウス屋外テントブースでのレクチャーも可能とした。
- ・4月～8月末までの知床五湖駐車場の利用車両台数は、19,508台（前年比44%）、バイク2,936台（前年比58%）、マイクロバス41台（前年比32%）、大型バス79台（前年比4%）であった。

※上記の値は現時点での速報値であり、今後修正される可能性がある。

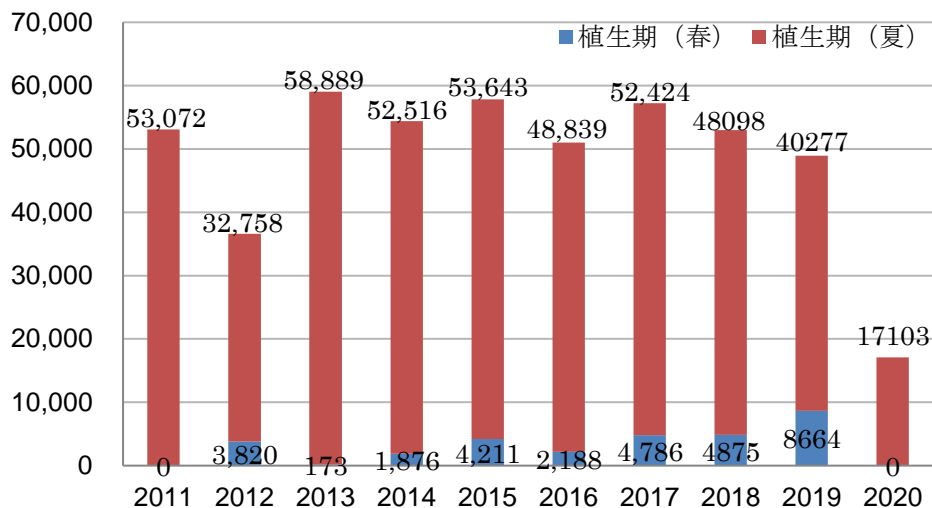
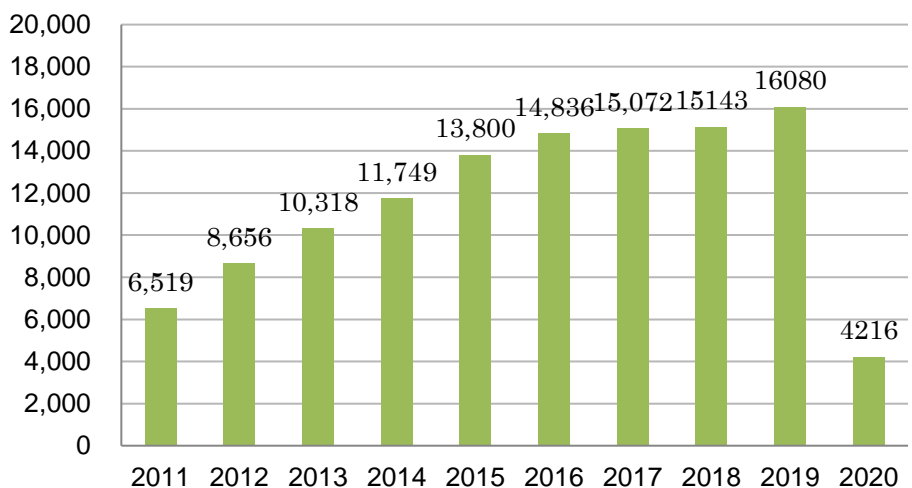


図1: 植生保護期の立入認定者数の推移(人) *2020年は8月末時点



※現状のヒグマ活動期立入者数上限は 33,781 人(1日あたり 407 人×83 日)

図2: ヒグマ活動期の立入認定者数の推移(人)

3. 知床五湖の利用のあり方協議会、登録引率者審査部会の開催状況

●第32回知床五湖登録引率者審査部会：2020年1月16日

→元年度の利用調整地区の運用結果、登録引率者の研修及び試験の実施結果、決算について承認。小グループ・当日受付事業の料金について値上げの方向で合意。五湖FH開館時間について、園地内施設にあわせて変更。

●第41回知床五湖の利用のあり方協議会：2020年2月14日

→利用適正化計画について、前回協議会での修正意見を踏まえ確定。秋の自由利用期を植生保護期に変更する形で、最終案が承認。

4. 知床五湖登録引率者に係る事項

- ・2020年度は34名の引率者を登録（前年32名）。研修を実施中。
- ・2020年1月27日～3月6日まで2021年（令和3年）度の新規養成者募集を行い、5名の応募あり。現在2名の養成研修を実施中。